

平成24年1月27日 現在

申込開始は各研修開催日の前月15日頃、ホームページに各月の案内がUPされた時点からになります。  
調整のため予定内容が変更になる場合もありますのでご了承ください。

日時/会場	単元	講師	内容	定員/受講料
<b>2/10 (金)</b> 14:00-17:00 7階研修室	認知症ケア① 原疾患別の病理と特性Ⅲ 脳血管疾患の理解とケア	村越洋子 先生 社会福祉法人慶美会 介護教育指導室・室長 介護福祉士 千葉県認知症介護指導者	認知症の理解として各原疾患によって異なる特性があります。かつて原疾患1位と言われた脳血管疾患ですが、現在でも罹患者は多く、アルツハイマーとの混在型など、正しい知識を得ることは重要です。その具体的な病理と症状の特性を知り、より専門性の高い個性ケアの方法を共に考えていきます。	30名 無料
<b>2/11 (土)</b> 10:00-16:00 7階研修室	認知症ケア② センター方式のプランニングⅠ センター方式とは 基礎と理解	津雪聡子 先生 特別養護老人ホームワールドナーシングホーム	例年研修を行っている認知症ケアプランニングのひとつであるセンター方式の2回シリーズ研修です。1回目はセンター方式の特徴である「5つの視点」、「その人らしいあり方」、「安心・快」、「自分の力の発揮」、「安全・健康」、「なじみの暮らしの継続」という本人本位の視点や実際のシートの説明など、基本的な基礎と理解を学びます。2回目は実際のケースを元にプランを立ててみて、ケーススタディを行っていきます。	20名 無料
<b>3/15 (木)</b> 10:00-16:00 7階研修室	認知症ケア③ センター方式のプランニングⅡ 実際にプランを立ててみる	生活相談員・介護支援専門員 千葉県認知症介護指導者		無料
<b>3/23 (金)</b> 14:00-17:00 7階研修室	認知症ケア④ セッション「ケア」の先にある「支援」を考えるー 介護保険を越える次世代デイサービス	前田隆文 先生 ・ 西野雅信 NPO法人町田つながりの開 介護実習センター 代表 マネジャー	調整中	30名 無料
<b>7/23 (土)</b> 13:00-16:00 7階研修室	ターミナルケア① 病院チャプレンに聞く 死生に寄り添うということ	上田憲明 先生 聖路加国際病院 聖ルカ礼拝堂 チャプレン	ターミナルケアに関わる者として、さまざまな死生観に触れ、自分の死生観を見つめることはとても大切です。病院に併設した礼拝堂でチャプレン(牧師)として、院内のさまざまなものに寄り添う中で学ばれた、死ぬとはどういうことか、生きるとはどういうことか、それに寄り添うとはどういうことかをお話、お話を伺いながら、一緒に考えていきます。	30名 終了しました
<b>9/14 (水)</b> 13:00-16:00 7階研修室	ターミナルケア② ナラティブ・アプローチの 理解と演習	品川博二 先生 日本ケアカウンセリング研究所 所長・臨床心理士 東京学芸大学講師 札幌学院大学社会連携センター講師	終末期のケアに関わるとき、その当事者の豊かな人生を振り返ることはとても重要な意味をもっています。その人生の意味することは何か、そこにどんな物語があったのか、その物語に焦点をあてた関わりを「ナラティブ・アプローチ」といいます。今ここでその当事者の役割と希望を明確にし、それを言語化して形にしていくナラティブ・アプローチを演習を踏まえて学びます。	30名 終了しました
<b>3/9 (金)</b> 14:00-17:00 7階研修室	ターミナルケア③ 施設で看取るということ	小川利久 先生 社会福祉法人ファミリー・法人本部長 特別養護老人ホームハピネスあだち・施設長 小林悦子 先生 ハピネスあだち看取り委員会副委員長・准看護士	制度の改正等により、看取りに取組む施設が増えてきました。終の棲家として、ターミナルケアの場として、その方の人生の節目の場として、施設で看取るということの意味と実際の取り組みについて、平成18年開設以来、足立区で施設での看取りに積極的に取り組まれているハピネスあだち施設長小川先生と看取り委員会副委員長小林先生にお越し頂き、その取り組みや課題をうかがいながら、一緒に考えていきます。	30名 無料
<b>7/22 (金)</b> 13:00-17:00 7階介護実習室	ターミナルケア④ 終末期に関わるケア者のためのケア Biodanza (ビオダンサ)	David Tharp 先生 サイコセラピスト・MD・精神療法士 Biodanza日本校ディレクター (講義は全編日本語です)	生老病死にかかわるケア職にとって、そのさまざまな経験はケア者自身の心身の健康にも大きく影響してきます。Care for care givers (ケア者のためのケア) を各国で長年取り組み、阪神淡路大震災や東日本大震災でも被災地支援を積極的に行っている先生から、BIODANZAというムーブメント(体を動かしながら効果的に心や精神に働きかけていく)の演習を通して実感します。	20名 終了しました
<b>7/14 (木)</b> 14:00-17:00 7階介護実習室	従事者のためのヘルスケア① 対人援助職に 自己理解が必要な理由	西野雅信 千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当 臨床心理/産業カウンセラー	介護職を含む対人援助職にとって、ご利用者やご家族など他者を理解することと同様に援助者自身の自己を理解することもとても重要な意味を持っています。援助している時の私の役割や自他の区別の必要性など、対人援助職に自己理解が必要な理由を、「鏡のシート」などのいくつかの演習を通して学んでいきます。	30名 終了しました
<b>7/16 (土)</b> 13:00-17:00 7階介護実習室	従事者のためのヘルスケア② コラージュ・ポスターで 自分に心を配ってみる	西野雅信 千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当 臨床心理/産業カウンセラー	介護職は他者に心を配るあまり自分に心を配ることをうっかり忘れてしまう時があります。この研修では心理学的芸術療法のひとつであるコラージュ・ポスターを通して、楽しくコラージュ(切り貼り絵)を作りながら、そこに投影される普段意識しにくい自分の本来の欲求や状態への気づきから、自分に心を配る(セルフメンタルケア)とはどういうことか、心の深呼吸を体感できるようファシリテートしていきます。	20名 終了しました

1/15 (日)	従事者のためのヘルスケア③	池田卓規	介護職を元気に続けていくために、自身の健康を維持・増進することは重要です。そのひとつの方法として運動を”楽しく”継続していくことが大切です。それをテーマに、個人で行う運動(EGOSQUEを基にした姿勢分析・改善エクササイズなど)と、グループで行う運動(ボール、棒などを使ったスポーツレクリエーション)のそれぞれを紹介し、セルフケアとしても、現場でも役立つ運動の大切さと楽しさを体感していきます。	20名
14:00-17:00	運動・トレーニングで	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター		終了しました
7階介護実習室	体力づくり・リフレッシュ	サブマネジャー・健康運動指導士		
12/18 (日)	従事者のためのヘルスケア④	西野雅信	ストレスの基本的な知識と、介護職に特徴的に見られるストレス状態(ペルソナ・共感疲労・バーンアウト)について学び、リラクゼーションなどその対処法や、ストレスを含むメンタルヘルスのマネジメントについて一緒に考えていきます。	30名
14:00-17:00	従事者のためのストレス・	千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当		終了しました
7階介護実習室	メンタルヘルス・マネジメント	臨床心理/産業カウンセラー		
9/4 (日)	介護職のための解剖生理①	西川周子 先生	身体介護の援助をするにあたって、その「身体」については十分な知識が必要になります。また医療・看護との連携にあたってその基礎となる医学的知識は重要になります。そこでここでは介護職として必要な身体の解剖生理の基礎について学び共通知識を身につけます。	30名
14:00-17:00	総論	(有) ライフステージ 看護師		終了しました
7階研修室				
9/24 (土)	介護職のための解剖生理②	横田祥併	「身体」を構成する大きな臓器として、立位という人体特有の体格の基礎を作る骨格器、その骨と骨を関節を越えて付着し、筋線維の収縮により関節運動を行う骨格筋という運動器系があります。それらの構造や仕組みなどの特徴、また老化による変性等について学びます。	30名
14:00-17:00	I. 筋・骨格器・運動器系	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター		終了しました
7階研修室		トレーナー・健康運動指導士		
10/8 (土)	介護職のための解剖生理③	池田卓規	「身体」を統合し、全身をコントロールしている神経系には中枢神経系と末梢神経系があります。また、感覚の受容体、連絡経路としても重要な役割を果たしています。五感を司る目・鼻・口・耳・皮膚も、感覚器系として神経系とつながっています。その経路や仕組みを学びます。	30名
14:00-17:00	II. 神経系・感覚器系	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター		終了しました
7階研修室		サブマネジャー・健康運動指導士		
1/14 (土)	介護職のための解剖生理④	横田祥併	脳とともに身体機能の中でも重要な「心臓」は酸素と栄養を血液として全身に循環させる大切な臓器です。その循環の経路である血管とともに循環器系と分類されています。また、心臓が循環させる酸素は、肺から取り込まれます。口・鼻から気管を通して肺までの分類を呼吸器系といい、循環器系とともに重要な役割をしています。その循環器系と呼吸器系について学びます。	30名
14:00-17:00	III. 循環器系・呼吸器系	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター		終了しました
7階研修室		トレーナー・健康運動指導士		
調整中	介護職のための解剖生理⑤	西川周子 先生	「身体」を養育するために生物は「摂食・排泄」からエネルギーを生み出し、生命活動を営んでいます。その経路である消化器系、そして生命活動と成長の調整をする内分泌系について学びます。	30名
14:00-17:00	IV. 消化器系・内分泌系	(有) ライフステージ 看護師		調整中
7階研修室				
11/24 (木)	疾病の理解とケア①	バイオメディカルサイエンス研究会	さまざまな感染症対策と予防は年々新しい感染源によってとても困難な状況が生まれることもあり、その理解と方法についてはとても重要です。感染症対策として、①病原微生物の基礎、②感染症の実態と予防対策、③衛生管理の基本と実際について、医学、薬学、獣医学、農学等生物科学を専攻する国公立研究機関、大学等の出身専門家によって構成された専門家集団であるバイオメディカルサイエンス研究会(BMSA)に所属されている各専門分野の3名の先生からリレー方式で学びます。	30名
14:00-17:00	感染症の理解とケア	1. 病原微生物の基礎知識 本間玲子先生(元感染症研究所) 2. 感染症の実態と予防対策 増田剛太先生(元駒込病院内科部長) 3. 衛生管理の基本と実際 三好哲夫先生(BMSA分野長)		終了しました
7階研修室	病原微生物と衛生管理について			
未定	疾病の理解とケア②	調整中	サイコオンコロジーとは、主としてがんに対して精神面からアプローチする学問の総称を言います。サイコオンコロジーはがん患者の心理だけでなく、家族や医療関係者などのケアスタッフの心理を含み、また、がんの再発防止や予防するための社会心理学的研究も含む幅広い学問です。がんと向き合いながら、より豊かな人間性を育てるヒントを学びます。	30名
14:00-17:00	がん患者と家族のこころのケア			無料
7階研修室	サイコオンコロジーの理解			
未定	疾病の理解とケア③	調整中		30名
14:00-17:00	心疾患の理解とケア		調整中	無料
7階研修室				
1/25 (水)	疾病の理解とケア④	田村阿壽美	慢性疾患や医療依存度の高いケースに関わる際など、介護職として医療・看護と連携をとって行く中で、サマリーや血液検査の基本的な数値の意味や読み方を知っていると、調理や服薬援助の意義が十分理解でき、また観察点が明確になっていきます。ここでは基本的な数値について、その意味と読み方について学びます。	30名
14:00-17:00	健康診断の結果の見方	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター		終了しました
7階研修室	検査数値の読み方	主任看護師・日本糖尿病療養指導士		
10/11 (火)	介護職のための医療行為①	梅原ゆき江 先生	ALSや嚥下障害を持つ当事者への吸引のケアは、鼻咽喉の正しい解剖生理を理解し、またカニューレや吸引器の構造、使用方法等、機器についても正しい知識が必要になります。この研修では前半に医学的・法的理解について学び、後半は手技・処置方法について吸引演習用人形と吸引器を使用して実践的に学びます。	20名
10:00-16:00	吸引のケア	(有) ライフステージ代表		実習用材費1000円
7階介護実習室	呼吸管理 I	訪問看護ステーションさくら・看護師		終了しました

1/17 (火)	介護職のための医療行為②	梅原ゆき江 先生	ALSや嚥下障害を持つ当事者への吸引のケアは、鼻咽喉の正しい解剖生理を理解し、またカニューレや吸引器の構造、使用方法等、機器についても正しい知識が必要になります。この研修では前半に医学的・法的理解について学び、後半は手技・処置方法について吸引演習用的人形と吸引器を使用して実践的に学びます。(10/11「吸引のケア・呼吸管理Ⅰ」と同内容の再講となります。)	20名
10:00-16:00	吸引のケア	(有) ライフステージ代表		実習用材費1000円
7階介護実習室	呼吸管理Ⅱ	訪問看護ステーションさくら・看護師		終了しました

11/26 (土)	介護職のための医療行為③	梅原ゆき江 先生	消化器系・中枢神経系疾患などによって摂食・嚥下が障害された場合の栄養摂取ケアは、経管栄養・胃ろう・IVH(中心静脈栄養法)などの医療処置になることがあります。ここではそれぞれの処置の構造と方法、注意点やケア方法など、連携を取るために介護職として知っておきたい知識を学びます。	20名
10:00-16:00	胃ろう・経管栄養・IVHのケアⅠ	(有) ライフステージ代表 訪問看護ステーションさくら・看護師		終了しました
7階介護実習室		実習講師：岩佐珠江 先生／看護師		

2/21 (火)	介護職のための医療行為④	梅原ゆき江 先生	消化器系・中枢神経系疾患などによって摂食・嚥下が障害された場合の栄養摂取ケアは、経管栄養・胃ろう・IVH(中心静脈栄養法)などの医療処置になることがあります。ここではそれぞれの処置の構造と方法、注意点やケア方法など、連携を取るために介護職として知っておきたい知識を学びます。(11/26「胃ろう・経管栄養・IVHのケアⅠ」と同内容の再講となります。)	20名
10:00-16:00	胃ろう・経管栄養・IVHのケアⅡ	(有) ライフステージ代表		無料
7階介護実習室		訪問看護ステーションさくら・看護師		

3/6 (火)	介護職のための医療行為⑤	梅原ゆき江 先生	ALSや嚥下障害を持つ当事者への吸引のケアは、鼻咽喉の正しい解剖生理を理解し、またカニューレや吸引器の構造、使用方法等、機器についても正しい知識が必要になります。この研修では前半に医学的・法的理解について学び、後半は手技・処置方法について吸引演習用的人形と吸引器を使用して実践的に学びます。(10/11・1/17と同内容の再講となります。)	20名
10:00-16:00	吸引のケア	(有) ライフステージ代表 訪問看護ステーションさくら・看護師		実習用材費
7階介護実習室	呼吸管理Ⅲ	実習講師：岩佐珠江 先生／看護師		1000円

10/22 (土)	介護技術①	佐藤幸恵 先生	人はどのように寝返り・起き上がり・立ち上がるのか？人の自然動作=H.N.A.を学び、「持ち上げる介助」ではなく「人の動きを再現する介助」を、ご自身の体で体感していただきながら研修していただきます。	20名
13:00-17:00	ヒューマンズ・ナチュラル・アクション	NPO法人動作介助研究会・事務局長		終了しました
7階介護実習室	らくらく動作介助の考え方Ⅰ	理学療法士		

1/22 (日)	介護技術②	齋竹一子 先生	人はどのように寝返り・起き上がり・立ち上がるのか？人の自然動作=H.N.A.を学び、「持ち上げる介助」ではなく「人の動きを再現する介助」を、ご自身の体で体感していただきながら研修していただきます。(10/22「らくらく動作介助の考え方」大変好評だったため、同じ内容の再講になります。)	20名
13:00-17:00	ヒューマンズ・ナチュラル・アクション	NPO法人動作介助研究会・会長		終了しました
7階介護実習室	らくらく動作介助の考え方Ⅱ	看護師		

2/19 (日)	介護技術③	加茂川隆文 先生	生まれた時から、または幼児期に聴覚に障害が起こった時に、発語に障害がある方々をろうあ者と言います。けれどそのコミュニケーションは実に豊かです。当事者の加茂川先生をお呼びして、ろう文化と手話を中心とした豊かなコミュニケーションを学び、隣人としてどう関わればいいのかを教えてください。	20名
14:00-17:00	ろうあ者とのコミュニケーション	我孫子市ろうあ協会		無料
7階介護実習室	当事者から学ぼう文化と手話	講師		

3/16 (金)	介護技術④	伊藤和男 先生	視覚障がいの種類や状況などの基本的理解と、当事者の方々がどういったニーズをお持ちなのか、それに即した援助方法を、当事者である伊藤先生から学びます。	30名
14:00-17:00	視覚障がいの基礎と援助法	千葉県視覚障害者福祉協会		無料
7階研修室		副会長		

6/2 (木)	介護技術⑤	中川一郎 先生	心理・教育・福祉・医療などの各分野での「こころと体の手当て」の方法として、また災害や事故、紛争などのトラウマケア、日常的に心身の健康を保つセルフケア・他者へのケアなど、幅広い効果が期待できるホリスティック(統合的)でシンプルなケアの技法「タッピング・タッチ」を、開発された中川先生から直接学びます。	30名
14:00-17:00	タッピング・タッチの理論と技法	ホリスティック心理教育研究所・所長 臨床心理士・臨床心理学博士 三重大学国際交流センター・客員教授 三重大学医学部看護科・非常勤講師		終了しました
7階研修室				

9/10 (土)	介護技術⑥	水野 剛 先生	9/9(金)10(土)の2日間で開催される「第6回千葉県福祉用具・健康機器フェア」での公開セミナーとして、元気高齢者への福祉用具啓発として歩行関連用具の種類と選定、使用方法について研修を行います。介護職・看護職にも、ケア環境として福祉用具を知り、その必要性をどう当事者へ伝えていくかを学ぶことはケアの質を上げる大切な要因になります。いろいろな用具を実際に見て触って体験してください。	30名
①13:30-14:00 ②15:00-16:00	第6回千葉県福祉用具・健康機器フェア公開セミナー	株式会社ヤマシタ・コーポレーション松戸営業所		終了しました
7階介護実習室	歩くと安心！歩行関連用具の使い方・選び方	福祉用具プランナー・社会福祉士		

3/8 (木)	介護技術⑦	東畠弘子 先生	来年度介護保険法改正によって義務化の方向となる福祉用具貸与の個別サービス計画について必要性と目的、方法など、全国福祉用具専門相談員協会の個別援助計画書(ふくせん様式)同モニタリングシートの開発や、厚生労働省「福祉用具における保険給付の在り方に関する検討会」委員など、その提唱を第一線で進めてきた東畠先生から、直にお話を聞きます。	30名
14:00-16:00	福祉用具サービス計画(個別援助計画)の義務化について	全国福祉用具専門相談員協会・理事 国際医療福祉大学大学院福祉援助工学分野・教		無料
7階研修室	試されるプランニングの重要性と方法	医療福祉経営学博士・社会福祉士		

6/11 (土)	災害・危機時の心理と対応①	小林里美	3月11日に発生した東日本大震災での被害は、大変広範囲で、地域によってその被害状況や、被災された方々の状態も多種多様であることが、多くの災害支援者の報告からわかってきました。今回小林・西野もそれぞれに被災地の被災者ケアを行って来ました。そのレポートをベースに、現状に合わせた、今必要なケアはどのようなものか、それにどう備えたいのかを、一緒に考えていきます。	30名
14:00-17:00	東日本大震災・被災地支援レポートから	千葉県福祉ふれあいプラザ 統括責任者・介護福祉士 西野雅信		終了しました
7階研修室	現状と必要なケアを考える	介護実習センター・マネジャー		

6/2 (木)	災害・危機時の心理と対応②	中川一郎 先生	阪神・淡路や中越、今回の東日本大震災でも同様に、災害や危機的状况に見合った時、心理・精神的負担は計り知れませんが、PTSD（精神的外傷）と言われる後遺症を残さない為に、できるだけ早い心理的援助が必要になります。災害支援に関わっていらっしゃる先生から、地域での災害時に危機対応などがスムーズに行われるよう、その心理的援助方法について学びます。	30名
10:00-13:00	災害・危機時における心理援助	ホリスティック心理教育研究所・所長 臨床心理士・臨床心理学博士 三重大学国際交流センター・客員教授 三重大学医学部看護科・非常勤講師		終了しました
7階研修室				
6/30 (木)	災害・危機時の心理と対応③	品川博二 先生	災害により避難を余儀なくされている方々は、その環境や状況によってさまざまなストレスに暴露され、こころと体に大変な負担がかかります。それは援助者にとっても同じです。そのストレスに対して、ケア・カウンセリングの手法でどうコーピングしていくかを理論と演習を踏まえて学びます。	30名
14:00-17:00	災害ストレスとケア・カウンセリング ～被災者を支援するケア従事者のために～	日本ケアカウンセリング研究所 所長・臨床心理士 東京学芸大学講師 札幌学院大学社会連携センター講師		終了しました
7階研修室				
未定	災害・危機時の心理と対応④	調整中	調整中	30名
14:00-17:00				無料
7階研修室				
2/3 (金)	発達と障害の理解①	田熊立 先生	人は発達の過程でさまざまな能力を手に入れていきますが、認知や言語、運動、社会的な能力や技術の獲得に、かたよりの遅れがある状態を「発達障害」と呼びます。発達障害は主に子どもたちの障害とされていることが多いですが、当事者が大人に成長した場合や、高次機能の障害程度や軽度の場合は、周囲も本人も気づいていない場合もあります。その基礎を学びます。	30名
14:00-17:00	大人の発達障害 その基礎と理解			
7階研修室				
2/22 (水)	発達と障害の理解②	千葉県発達障害者支援センターCAS・副センター長	①の基礎を理解したうえで、実際に大人の発達障害の方に関わる際の具体的な方法や考え方について学びます。	無料
14:00-17:00	大人の発達障害 具体的な関わりと方法	博士（学術） 臨床心理士		
7階研修室				
12/16 (金)	介護職のための当事者体験研修Ⅰ	西野雅信	当センターで開室している「体験コーナー」で、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、車いす利用者体験を通して、介助される側の心理と想いを体感的に理解し、体験後のフィードバック・振り返りから、日々の援助を再考察することで、援助の本質的な意味を理解し、より当事者本位のケアの方法を一緒に考えていきます。	20名
14:00-17:00	高齢者／認知症疑似体験・ 車いす体験を通して 当事者の気持ちを体験する	千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当 介護実習センター体験コーナーインストラクター		終了しました
1階体験コーナー・工作室				
2/17 (金)	介護職のための当事者体験研修Ⅱ	西野雅信	当センターで開室している「体験コーナー」で、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、車いす利用者体験を通して、介助される側の心理と想いを体感的に理解し、体験後のフィードバック・振り返りから、日々の援助を再考察することで、援助の本質的な意味を理解し、より当事者本位のケアの方法を一緒に考えていきます。	20名
14:00-17:00	高齢者／認知症疑似体験・ 車いす体験を通して 当事者の気持ちを体験する	千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当 介護実習センター体験コーナーインストラクター		無料
1階体験コーナー・工作室				
調整中	介護職のための当事者体験研修Ⅲ	西野雅信	当センターで開室している「体験コーナー」で、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、車いす利用者体験を通して、介助される側の心理と想いを体感的に理解し、体験後のフィードバック・振り返りから、日々の援助を再考察することで、援助の本質的な意味を理解し、より当事者本位のケアの方法を一緒に考えていきます。	～最大20名
14:00-17:00	高齢者／認知症疑似体験・ 車いす体験を通して 当事者の気持ちを体験する	千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター マネジャー・専門職研修担当 介護実習センター体験コーナーインストラクター		ご相談ください
1階体験コーナー・工作室				
年間4団体まで	事業所リクエスト カスタム研修	希望する研修内容によって講師をコーディネートします	県内の介護サービス事業所・団体単位で、必要に応じた研修内容を一緒に組み立て、講師をコーディネートして研修を行います。事業所への出張、当センター研修室・介護実習室・体験コーナー等を使用した研修もご相談に応じてコーディネートします。詳しくはお問合せください。	10名～
概ね2時間				定数になりました
各事業所など				

対象 介護保険全サービス事業・医療系サービスの全職種 行政関係部課の職員 等

お申し込みはお電話でお願いします

Tel04-7165-2886 (受付)

研修の年間予定・最新情報はホームページで（急な変更もありますのでこまめにチェックしてください）

<http://www.furepla.jp>

千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センター：千葉県我孫子市本町3-1-2 けやきプラザ1・6・7階（JR我孫子駅南口徒歩1分）